

漁海況情報

平成 24 年 4 月 17 日 第 2 号 (通巻 496 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

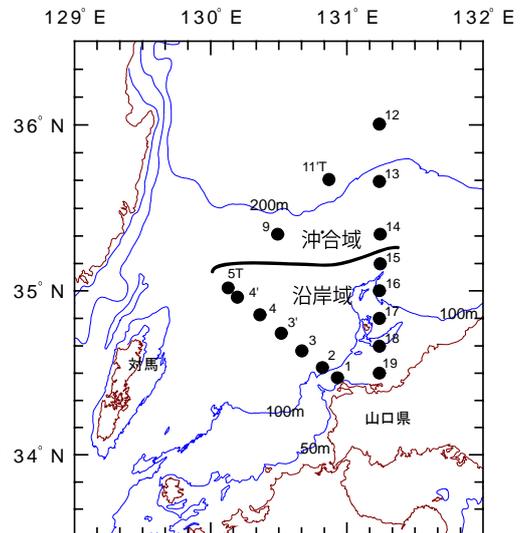
TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【くろしおによる海洋観測】

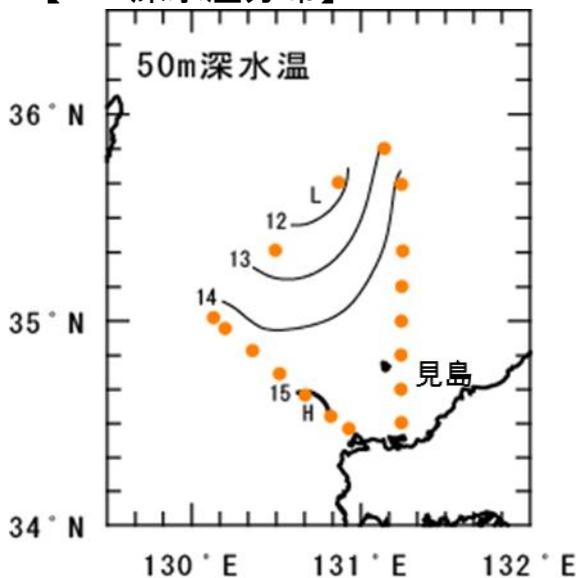
4 月 12~13 日に漁業調査船「くろしお」で海洋観測を実施しました。沿岸域では 50m, 100m 深水温とも平年に比べ「やや高め」、沖合域では「平年並み」でした。

なお、西海区水研ブロックの海域区分に従って、沿岸域と沖合域に分けて、水温の評価を行っています。ここで平年とは 30 年間(1981~2010 年)の平均値のことです。



海洋観測点

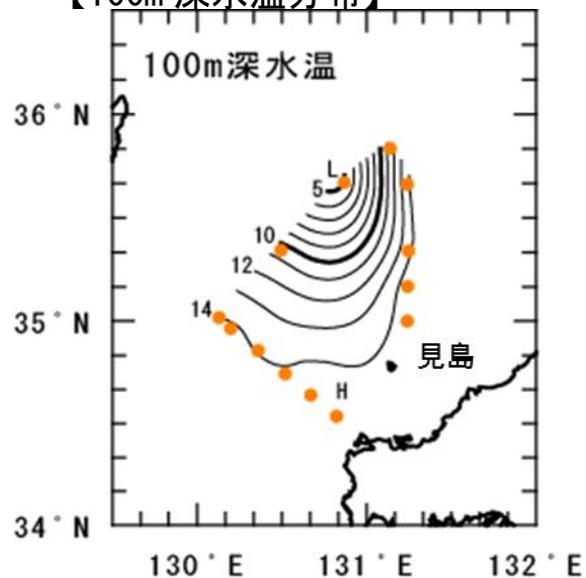
【50m 深水温分布】



沿岸域は先月より約 1°C 昇温し 14°C 台で、平年に比べ「やや高め」でした。見島周辺では 14°C でした。

沖合域では 11~13°C 台で「平年並み」でした。

【100m 深水温分布】

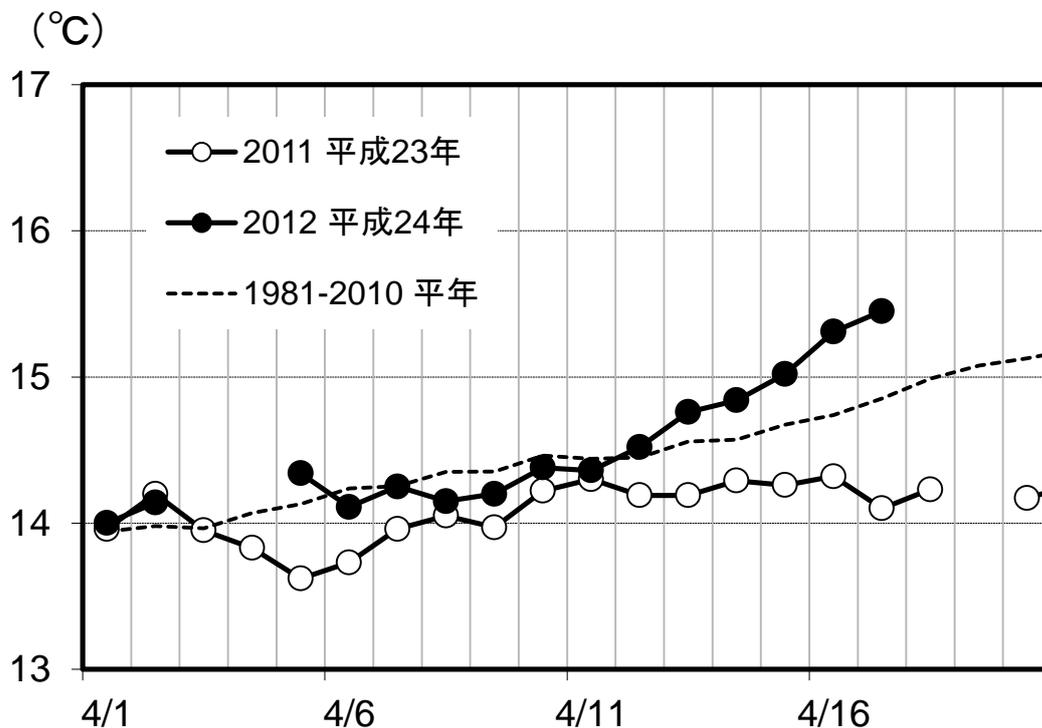


沿岸域は 13~14°C 台で「平年並み」でした。見島周辺では 14°C 台で 50m 深の値とほとんど変わりませんでした。

沖合域は、先月よりも冷水の勢力がやや強くなったものの、4~12°C で「平年並み」でした。

【萩-見島フェリー観測の表層水温】

4月上旬の萩沖表層水温は14.2°Cで「平年並み」でした。4月12日以降は、平年値よりも高めで推移しています。4月17日の表層水温は15.5°Cで、平年に比べ0.6°C高め（前年に比べ1.4°C高め）になっています。



【山口沖合の表層水温の見通し(~6月まで)】

表層水温は「平年並み~やや高め」で経過するでしょう。

・根拠

- ① 平成24年3月23日付け対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期長期漁海況予報によると、東シナ海から九州・日本海西部沿岸域では全般的に「平年並み~やや高め」で経過すると予報されていること。
- ② 平成24年3月22日付け福岡管区气象台発表の九州北部地方3ヶ月予報によると、4~6月の気温は「平年並み」の確率が40%、「高い」確率が40%と予報されていること。
- ③ 萩-見島定期船によって観測される見島南方の表層水温は、近年冬季~春季で高めの傾向がみられること。また、3月上旬~4月上旬は、おおむね「平年並み」で推移し、4月12日以降、平年よりも「やや高め」になっていること。